



不二テック株式会社

東京都千代田区神田錦町3-19-1 ☎ (03) 3293-5681

第77期 株主通信

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
第77期（2024年4月1日～2025年3月31日）の株主通信をお届けいたします。

■ 社長のご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第77期における当社を取り巻く環境は、インフレの進行・中国経済の減速・国際情勢の変化など、不安定な状況が続きました。こうした中、持続的な成長を実現するために、当社は昨年8月に、老朽化した2工場（栃木工場・真岡工場）を栃木千塚工場に集約することを発表いたしました。今後は同工場を医療生活用品の開発・生産の中核拠点と位置づけ、ものづくり力を更に強化してまいります。

また、精密機器事業においては将来的な工場拡張を見据え、新栃木工場の隣接地を取得いたしました。改革に向けたプロジェクトを推進し、より効率的で高機能な工場への進化を図ってまいります。

これからも当社は、精密機器及び医療生活用品における技術力を最大限に生かし、開発力をさらに磨き上げ、経営理念である「世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献する」の実現を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
近藤 安弘

統合と拡張による次世代製造体制の確立

医療機器事業が展開する主力のヘルスケア部門については、国内市場向けは依然として少子高齢化に伴う市場縮小の傾向が続いているため、老朽化した工場におけるコンドーム製造事業を停止し、この生産拠点を同じく老朽化した食品容器事業の生産拠点とともに栃木千塚工場へ統合し、新たに医療生活用品の生産拠点として再編成することを決定いたしました。

一方で、精密機器事業の生産拠点についても、次世代の製造拠点到拡張すべく隣接地に新たな工場用地を確保いたしました。これにより、精密機器と医療生活用品の二つを基軸製品とした2工場体制を進めてまいります。

精密機器事業においては、国内外の製造関連企業を中心とした顧客ニーズに対応すべく、ハイレベルな製品開発、新たな非対面営業による提案営業の試み、QCDの強化に取り組んでおりますが、主力市場の需要回復に想定以上の時間を要し、売上面で苦戦した1年となりました。

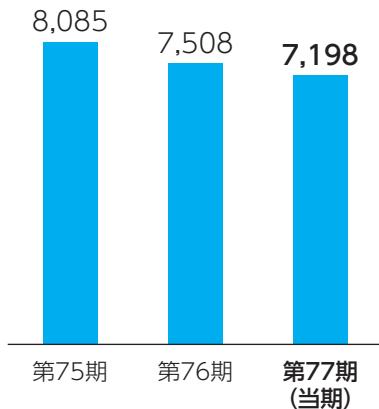
その結果、当連結会計年度の売上高は、7,198百万円と前年同期と比べ309百万円（△4.1%）の減少となりました。

また、利益面につきましては、生産合理化と投資計画の見直しや諸経費の節減と共に販売価格適正化に継続的に取り組みましたが、売上高減少の影響が大きく、営業利益は208百万円と前年同期と比べ231百万円（△52.6%）の減益、経常利益は170百万円と前年同期と比べ211百万円（△55.3%）の減益となりました。また、工場統合に伴う一時費用を上回る投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は298百万円と前年同期と比べ8百万円（2.9%）の増益となりました。

連結財務ハイライト

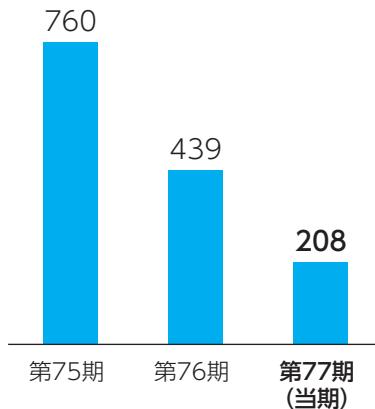
▶売上高 (百万円)

7,198百万円



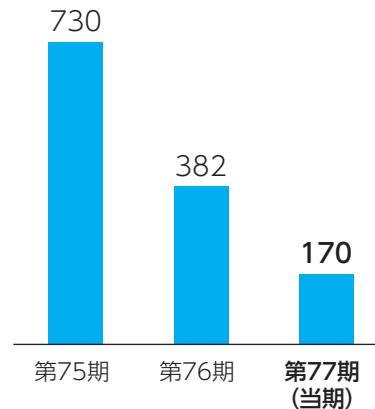
▶営業利益 (百万円)

208百万円



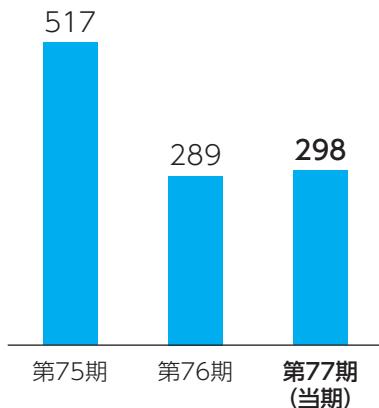
▶経常利益 (百万円)

170百万円



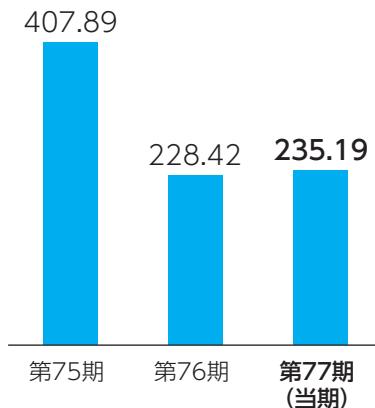
▶親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円)

298百万円



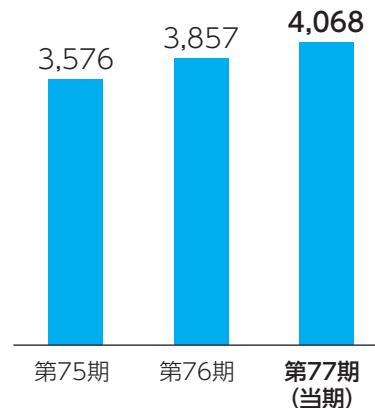
▶1株当たり当期純利益 (円)

235.19円



▶純資産 (百万円)

4,068百万円



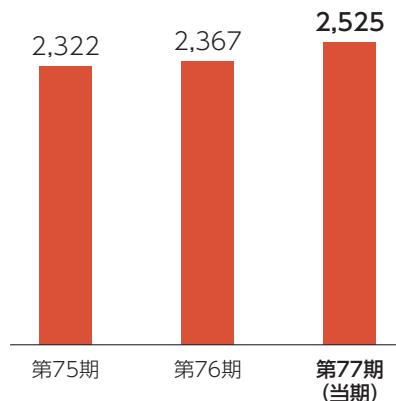
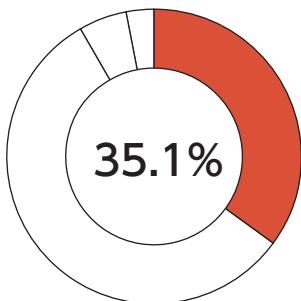
セグメント別の概況

医療機器事業

セグメント別売上高

2,525百万円

» 売上構成 (当連結会計年度)



主力のコンドームは、2024年8月末で製造事業を停止しましたが、市場支持の高い新素材コンドームSKYNの取扱いは引き続き継続しており、メディカル製品の売上も堅調に推移いたしました。

利益面ではヘルスケア事業の生産拠点再編にかかる一時的費用が発生しましたが、好調なメディカル製品がセグメント利益を押し上げ、ほぼ前期比同水準の利益となりました。

この結果、売上高は2,525百万円と前年同期と比べて158百万円 (6.7%) の増加となりました。

セグメント利益は、2年連続で黒字を計上し、7百万円 (前年同期は8百万円の利益) となりました。



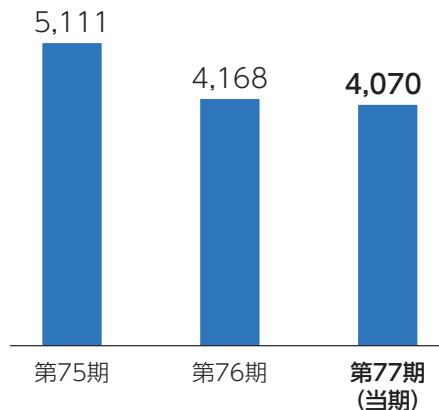
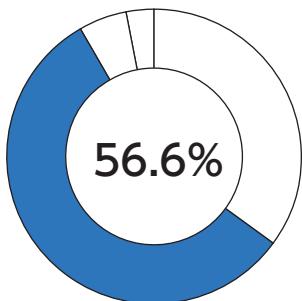
セグメント別の概況

精密機器事業

セグメント別売上高

4,070百万円

▶売上構成（当連結会計年度）



精密機器事業は海外市場での景気減速影響に加えて、特に年度前半において一部の取引先業種で在庫調整が発生したこと等が売上の下押し要因となりましたが、年度後半には市場の回復傾向がみられました。

労務費の上昇や部材等のコスト上昇を生産の合理化と販売価格の適正化により吸収し、原価コントロールに努めましたが、売上減少や一部部材の評価見直しの影響により、利益率が低下しました。

この結果、売上高は4,070百万円と前年同期と比べて98百万円（△2.4%）の減少となりました。

セグメント利益は、710百万円と前年同期と比べて121百万円（△14.6%）の減益となりました。



未来を切り拓く、電気制御式ダンパー

MRF ダンパー

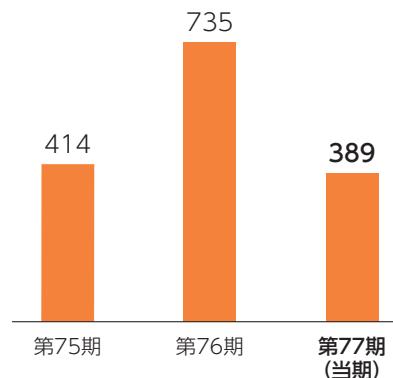
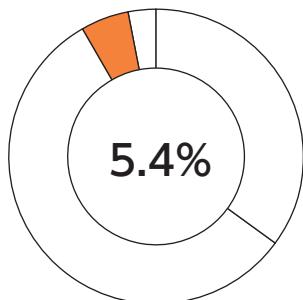
- MR 流体（磁気粘性流体）を使用してトルクを電気制御可能
- ロボットなど電気制御製品への採用増加中

SP事業

セグメント別売上高

389百万円

» 売上構成 (当連結会計年度)



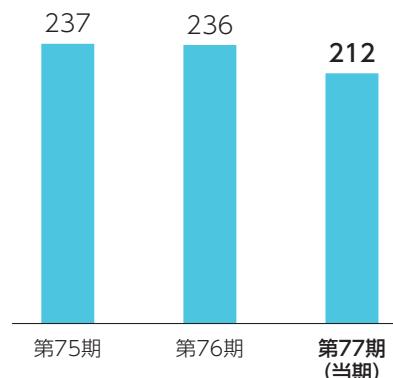
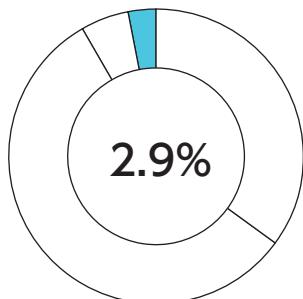
取引先に対する企画商品提案の件数が計画を下回ったため、主力先を中心にバルーンの販売が低調に推移いたしました。この結果、売上高は389百万円と前年同期と比べて345百万円(△47.0%)の減少となりました。セグメント損益は、売上減少に伴い、22百万円の損失(前年同期は36百万円の利益)となりました。

食品容器事業

セグメント別売上高

212百万円

» 売上構成 (当連結会計年度)



主力取引先に対する販売が想定通りに伸びず、売上計画を下回ったことにより、売上高は212百万円と前年同期と比べて24百万円(△10.5%)の減少となりました。

セグメント損益は、労務費の上昇や原料切替に伴う生産コストの上昇を販売増加や生産効率化で吸収できず、31百万円の損失(前年同期は29百万円の利益)となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 2025年3月31日現在	前連結会計年度 2024年3月31日現在		当連結会計年度 2025年3月31日現在	前連結会計年度 2024年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	6,457,945	6,318,666	流動負債	4,812,151	4,819,131
現金及び預金	2,338,923	1,697,976	支払手形及び買掛金	240,130	274,353
受取手形及び売掛金	1,497,380	1,515,163	電子記録債務	682,681	888,341
電子記録債権	523,498	520,857	短期借入金	2,888,000	2,578,000
商品及び製品	641,514	742,411	1年内返済予定の長期借入金	326,332	381,332
仕掛品	565,118	805,629	リース債務	75,211	94,177
原材料及び貯蔵品	764,468	885,958	未払法人税等	—	3,750
その他	127,103	150,740	未払消費税等	49,195	2,065
貸倒引当金	△62	△70	未払費用	201,091	230,288
固定資産	4,594,895	5,002,473	賞与引当金	210,079	218,114
有形固定資産	4,222,783	4,390,408	設備関係電子記録債務	8,995	16,669
建物及び構築物	2,025,450	2,223,950	その他	130,433	132,037
機械装置及び運搬具	101,740	114,167	固定負債	2,176,074	2,649,876
土地	1,777,718	1,777,718	社債	400,000	400,000
リース資産	238,106	226,214	長期借入金	1,466,192	1,792,524
建設仮勘定	33,831	2,823	リース債務	150,073	252,752
その他	45,934	45,534	再評価に係る繰延税金負債	130,854	127,115
無形固定資産	37,575	44,165	退職給付に係る負債	8,315	56,845
投資その他の資産	334,536	567,899	その他	20,638	20,638
投資有価証券	193,788	402,452	負債合計	6,988,225	7,469,007
退職給付に係る資産	11,437	—	(純資産の部)		
繰延税金資産	121,133	156,273	株主資本	3,617,631	3,383,204
その他	8,176	9,172	資本金	643,099	643,099
繰延資産	3,449	5,476	資本剰余金	248,362	248,362
資産合計	11,056,289	11,326,615	利益剰余金	2,767,640	2,532,876
			自己株式	△41,472	△41,134
			その他の包括利益累計額	450,433	474,404
			純資産合計	4,068,064	3,857,608
			負債純資産合計	11,056,289	11,326,615

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度	前連結会計年度
	2024年4月1日から 2025年3月31日まで	2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	7,198,559	7,508,117
売上原価	5,671,134	5,710,837
売上総利益	1,527,425	1,797,279
販売費及び一般管理費	1,318,881	1,357,548
営業利益	208,543	439,731
営業外収益	46,088	49,547
営業外費用	83,722	107,238
経常利益	170,908	382,039
特別利益	341,666	—
特別損失	129,675	6,372
税金等調整前当期純利益	382,899	375,667
法人税等合計	84,742	86,013
当期純利益	298,156	289,654
親会社株主に帰属する当期純利益	298,156	289,654



■ 連結株主資本等変動計算書 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	643,099	248,362	2,532,876	△41,134	3,383,204	145,789	288,295	34,060	6,258	474,404	3,857,608
当期変動額											
剰余金の配当			△63,392		△63,392						△63,392
親会社株主に帰属する当期純利益			298,156		298,156						298,156
自己株式の取得				△337	△337						△337
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△69,016	△3,738	11,839	36,945	△23,971	△23,971
当期変動額合計	—	—	234,764	△337	234,427	△69,016	△3,738	11,839	36,945	△23,971	210,456
当期末残高	643,099	248,362	2,767,640	△41,472	3,617,631	76,772	284,556	45,900	43,203	450,433	4,068,064

株主還元

基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を最重要経営課題のひとつとして位置付けており、企業体質の一層の充実・強化と将来に向けた積極的な事業展開を推進してまいります。

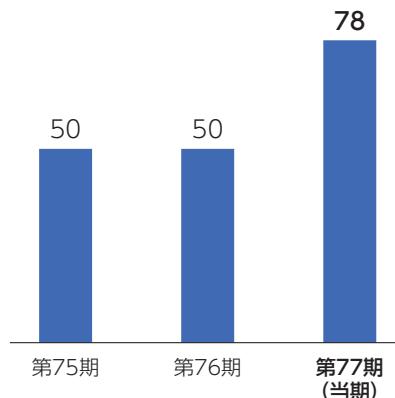
この基本方針のもと、毎期の配当額は、「連結株主資本配当率（DOE）」2.8%以上を目安に決定し、持続的成長に向けた適正な内部留保の充実と資本効率を重視した株主への安定的な利益還元に努めてまいります。

※連結株主資本配当率（DOE）＝年間配当総額÷連結株主資本（期首・期末の平均値）×100

当事業年度の剰余金の配当

2025年3月期の通期連結業績を踏まえ、当事業年度末日（2025年3月31日）を基準日とする配当金を1株につき78円とさせていただくことを、2025年5月15日開催の取締役会において決議いたしました。

<配当金>



<経営理念>

《我が社の目的》

我が社は世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献し、人々に喜ばれ信頼される企業になる。

《我が社のあり方》

我が社は優れた製品を創造し、高度な品質管理の下で製造・販売を行い、収益力の高い企業になる。

《我々の志》

我々は志を高くし、仕事を通じて自己の成長を図るとともに、協調して会社の発展に尽力し社会に貢献する。

会社概要

■ 会社の概要 (2025年3月31日現在)

商 号 不二ラテックス株式会社
英 文 商 号 FUJII LATEX CO., LTD.
設 立 1949年3月
資 本 金 643,099,600円
ウェブサイト <https://www.fujilatex.co.jp>

1. 当社グループの主要な事業内容

医療機器事業 コンドーム、水枕、ブロープカバーの製造
及び販売
精密機器事業 緩衝器の製造及び販売
S P 事 業 バルーン、販売促進用品の販売
食品容器事業 食品容器の製造及び販売

2. 事業所所在地

本 社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-7-3
名古屋営業所 〒465-0025 名古屋市名東区上社4-202-5
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11
栃木工場 〒328-0006 栃木県栃木市国府町150
新栃木工場 〒328-0124 栃木県栃木市野中町1276
真岡工場 〒321-4301 栃木県真岡市西田井1402-3
栃木千塚工場 〒328-0135 栃木県栃木市千塚町1705
ドイツ代表事務所
Königsallee 92A 40212 Düsseldorf,
Germany

3. 系列会社

不二ライフ株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
福集萊泰庫斯(上海)贸易有限公司
中国上海市普陀区长寿路360号 200060

■ 株式の状況 (2025年3月31日現在)

1. 概要

発行可能株式総数 3,000,000 株
発行済株式総数 1,286,199 株
株 主 数 1,678 名

2. 大株主(上位10名)

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
岡 本 昌 大	154	12.17
岡 本 和 大	137	10.85
岡 本 明 大	116	9.19
岡 本 和 子	104	8.25
不二ラテックス共栄会	79	6.24
岡 本 正 敏	34	2.69
(株)りそな銀行	30	2.37
(株)大木	27	2.17
オカモト(株)	26	2.11
赤 松 直 起	24	1.89

(注) 持株数は表示単位未満を切り捨てて表示しており、持株比率は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

■ 役員の状況 (2025年6月25日現在)

代表取締役社長 近藤安弘 取締役等委員 畑山幹男
取締役 金原辰弥 *取締役等委員 深沢岳久
取締役 岡本昌大 *取締役等委員 有沢正人
*取締役等委員 田中泉

*社外取締役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
定時株主総会基準日	毎年3月31日
剰余金配当基準日	毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎ 0120-707-843
(電話照会先)	
同取次窓口 公告方法	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店 電子公告により行います。URLは以下のとおりとなります。 (URL https://www.fujilatex.co.jp) ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

不二ラテックス株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1

03-3293-5681

<https://www.fujilatex.co.jp>

